

阿弥陀岳南稜

山行日 7月24(金) 天気:曇り一時雨

参加者 2名

記:SF

コース: 船山十字路 5:20 → 広河原 6:00 → 朝日小屋分岐 6:15 →
立場山 7:35 → 青ナギ 7:50 → 第一ピーク 8:30
朝日小屋分岐 10:30 → 船山十字路 12:20

天気予報が午後3時位まで曇りの為、山行を実施した、登山口は船山十字路です、ルートは八ヶ岳美術館を目標にその先の原村丸山別荘地を通りさらにその先の狭い道を直進し約10分位の場所です、道は舗装されていますが、別荘地の後は狭いので、車のすれ違いはできない、私たちが1番のりで、出発準備中にもう一台車が来た、天候が悪いので登山者は少ない、広河原までは林道を歩く、広河原からは広河原沢を渡る、沢は狭いので渡渉は問題ない、その先の急登を尾根まで登ると、南陵の尾根道にでる、尾根道は踏み後やりボンが多くありルート間違えはない、尾根道の右側の林は松茸が取れる為ロープが張ってあり入山禁止の看板が沢山取り付けてある、このコースはまず立場山までが急な直登ルートで立場山から青ナギの間は平な尾根道となるが、そこからはさらに急登となり第一ピークまで続く、第一ピークの手前より、霧、小雨、強風の為岩の通過は危険と判断し引き返した、時間もあるので、途中ゆっくり遅い朝食タイムをとり、朝日小屋分岐まで下山時にこのコースがかなりの急登である事を認識した、ここからは晶文社地図に薄くのっている朝日小屋経由のコースを下ってみた、最初は急な下りが続きその後湿地があり丸太の上を歩くが湿っていて滑りやすい、その後朝日小屋に着くが、小屋は廃屋に近い状態です、その後立場川に出るが橋は無く水量が多く靴を抜いての渡渉となった、その先以前は登山道であったが、流されて川底の様な場所を通過し、その後は昔の登山道が現れ安心して進むと古い標識があり行先が立場大橋になっているので行ってみると橋は流されて跡かたの無い、ここでも靴を抜いての渡渉となり、渡渉場所がコースより外れた場所なので藪の中をコースまでもどった、その先にも川があり、橋は無いが川幅がせまいので、石伝いに渡渉し、車が通過できる場所に出た、晶文社地図のデータは更新が遅いのでル事前に確認する必要があると感じた、その後林道を歩き、水場に到着数量は豊富で冷たいです、そこから数分で船山十字路に到着した、天候が良い時に再度挑戦する。



船山十字路ゲートを超えて



御小屋ルートの分岐南陵は直進



広河原にこの場所で左へ



広河原沢の渡渉場所川の幅は狭い



沢を超え急登を登ると尾根ルート



朝日小屋の分岐急な下りが小屋方面



登山道左側は松茸の林の為
ロープで区切り立て札が多くある



シクナゲの花 少し時期が遅い



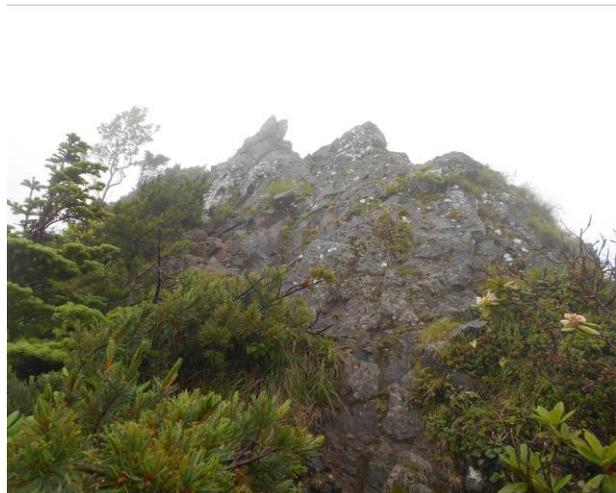
急登を登り立場山に霧が出てきた
地図では立場岳で標高が 100m高い
がその場所は存在しない



青ナギに霧で良く見えない
ここで小雨が降り始めた



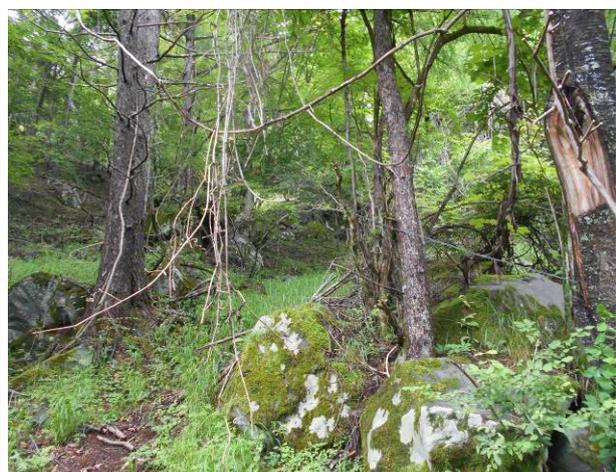
無名峰より阿弥陀岳方面を
通常はここでヘルメットを付ける



第一ピークに到着霧で阿弥陀岳は見えない



朝日小屋の分岐この急な下りが
ルート時間があるのでコース変更



朝日小屋までのルート踏み後は薄い



この先を下る



湿地を通過道に丸太が敷いてあるが
湿っていて滑りやすい



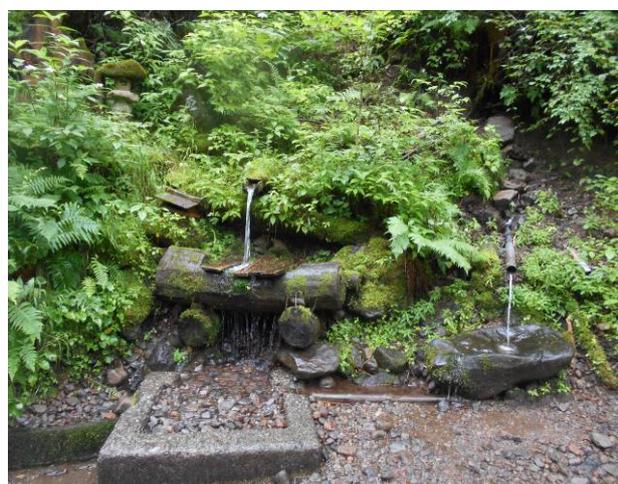
小屋を超えて立場川の渡渉ポイント
橋は無く 靴を抜いての渡渉



古い標識以前は登山道にこの先は立場大橋
先の川に橋無かった



最後の渡渉ポイント石伝いに



水場冷たい水で水量が多い